

(証券コード 7702)

株式会社 ジェイ・エム・エス

# 2025年3月期 連結決算の概要

---

2025年5月9日

## 連結：増収増益

売上高 69,749 百万円(+ 4,456 百万円)  
営業利益 872 百万円(+ 1,141 百万円)

- 売 上： 国内は薬価及び診療報酬改定に係る製品が増加、がん治療領域も堅調に推移し増収、海外は透析領域や血液・細胞領域が引き続き伸長し増収
- 利 益： 原材料費の高騰に加え、設備投資に伴う減価償却費の増加はあるものの、主力製品の伸長や価格転嫁の進展などの増収効果により増益

## システム別売上高

- 透 析： A V F 針（血液透析用針）や薬価改定を受けたプレフィルドシリンジ製剤が増加
- 血液・細胞： 血液バッグが伸長、事業譲受した白血球除去フィルターが加わり増収に寄与

## 地域別売上高

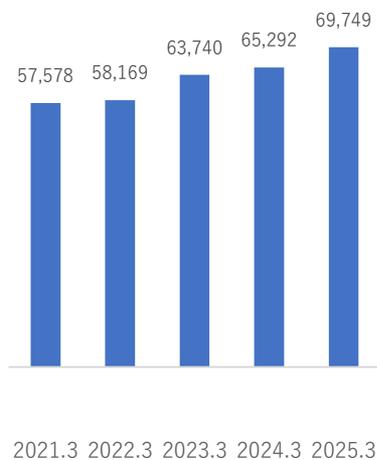
- 日 本： 薬価及び診療報酬改定を受けてプレフィルドシリンジ製剤や摂食嚥下関連用品が増加、薬剤調製・投与クローズドシステムが堅調に推移、価格転嫁も増収に貢献
- ヨーロッパ： 成分献血用回路のほか、透析用チェアや透析キットが増加

年間配当は1株当たり17円を予定（中間配当8.5円、期末配当8.5円）

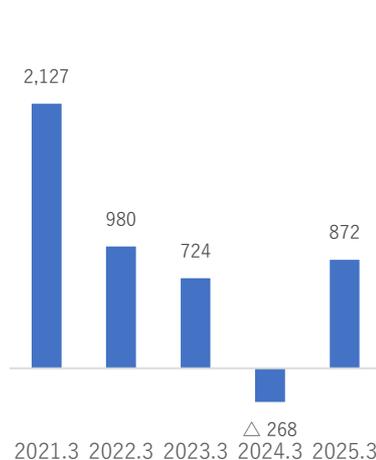
(単位：百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期	増減額	増減率
売上高	65,292	69,749	4,456	6.8%
営業利益	△268	872	1,141	—
経常利益	145	514	368	252.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△36	89	125	—

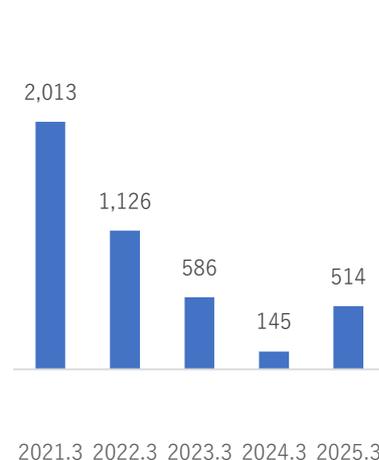
売上高



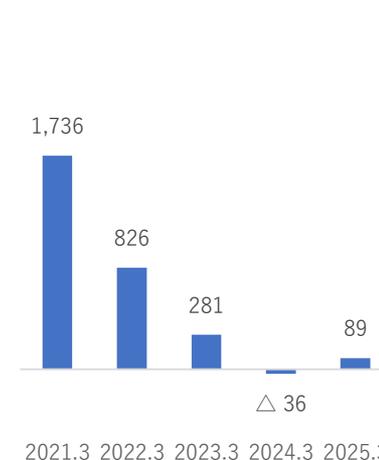
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する  
当期純利益



# セグメント業績（拠点別、経常利益ベース）

- 日本： 薬価および診療報酬改定を受けて関連製品が堅調に推移したほか、中国向け血液透析装置や関係会社向け販売が増加、価格転嫁の進展による増収効果も貢献し増益
- シンガポール： 血液バッグやA V F 針が増加、円安による円貨換算額の増加も加わり増収、原材料費や運送費の高騰に加え、為替が不利に働き営業外で為替差損を計上し微増益

（単位：百万円）

		2024年 3月期	2025年 3月期	増減額	増減率
日本	売上高	42,899	46,030	3,130	7.3%
	利益	601	1,483	881	146.4%
シンガポール※	売上高	24,180	26,539	2,359	9.8%
	利益	△280	△200	80	—
中国	売上高	3,690	4,163	473	12.8%
	利益	△84	△28	55	—
フィリピン	売上高	3,728	3,661	△66	△1.8%
	利益	△245	△415	△169	—
ドイツ	売上高	4,250	4,469	219	5.2%
	利益	485	454	△30	△6.4%
その他※	売上高	4,042	5,048	1,006	24.9%
	利益	11	△385	△397	—

※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。

※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイ、中国の一部の現地法人の事業活動を含んでいます。

(単位：百万円)

## 輸液・栄養領域



売上高



## 透析領域



売上高



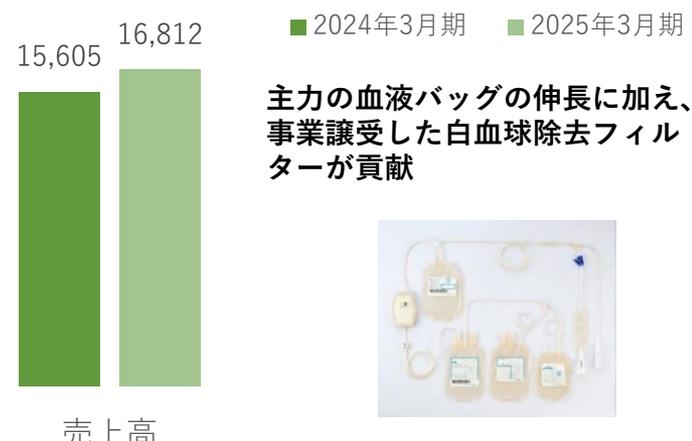
## 外科治療領域



売上高



## 血液・細胞領域



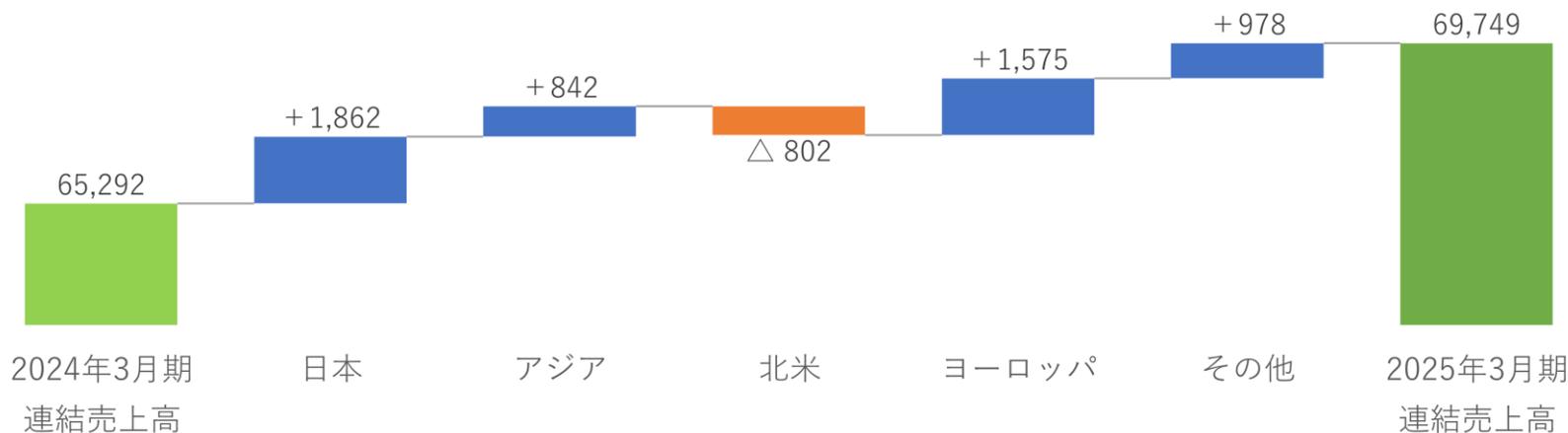
売上高



日本は薬価及び診療報酬改定に係る製品や薬剤調製・投与クローズドシステムが増加、価格転嫁の進展も貢献し増収、海外は主力のA V F針や血液バッグが伸長、ヨーロッパでは成分献血用回路が増加、顧客の在庫調整により成分献血用回路が減少した北米を除いて各地域で増収

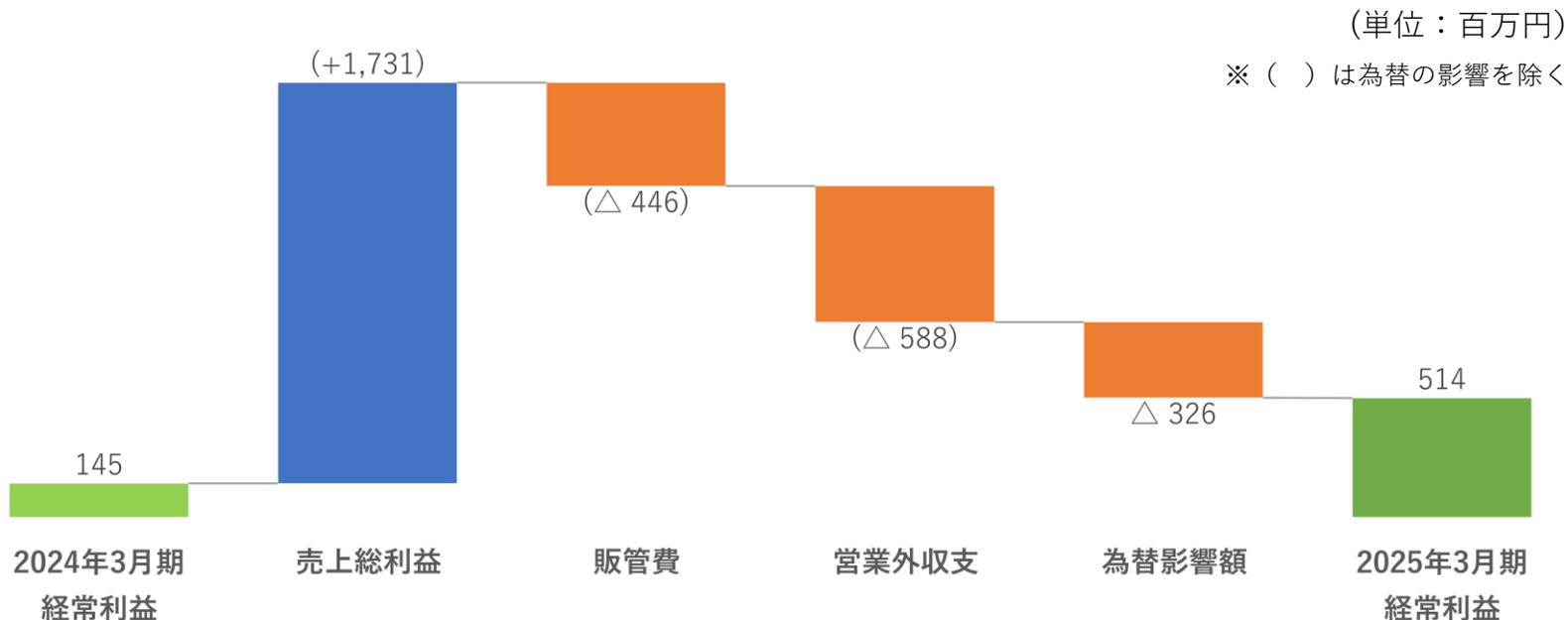
(単位：百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期	増減額	増減率	売上高 構成比
日本	37,959	39,821	1,862	4.9%	57.1%
アジア	11,483	12,325	842	7.3%	17.7%
北米	7,999	7,197	△ 802	△10.0%	10.3%
ヨーロッパ	6,124	7,699	1,575	25.7%	11.0%
その他	1,725	2,704	978	56.7%	3.9%



# 経常利益増減要因

原材料費等の高騰影響を受けるものの、主力製品の伸長や価格転嫁の進展により売上総利益は増加、人件費や運送費など販管費の増加、営業外では為替差損の計上等があるも、経常利益は増加



為替レート (期中平均)

	米ドル	ユーロ	シンガポールドル
2024年3月期	144.62 円	152.00 円	107.52 円
2025年3月期	152.58 円	163.95 円	113.99 円

(単位：百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期予想	対前期 増減率
売上高	65,292	69,749	68,000	△2.5%
営業利益	△268	872	900	3.1%
経常利益	145	514	600	16.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△36	89	200	123.4%

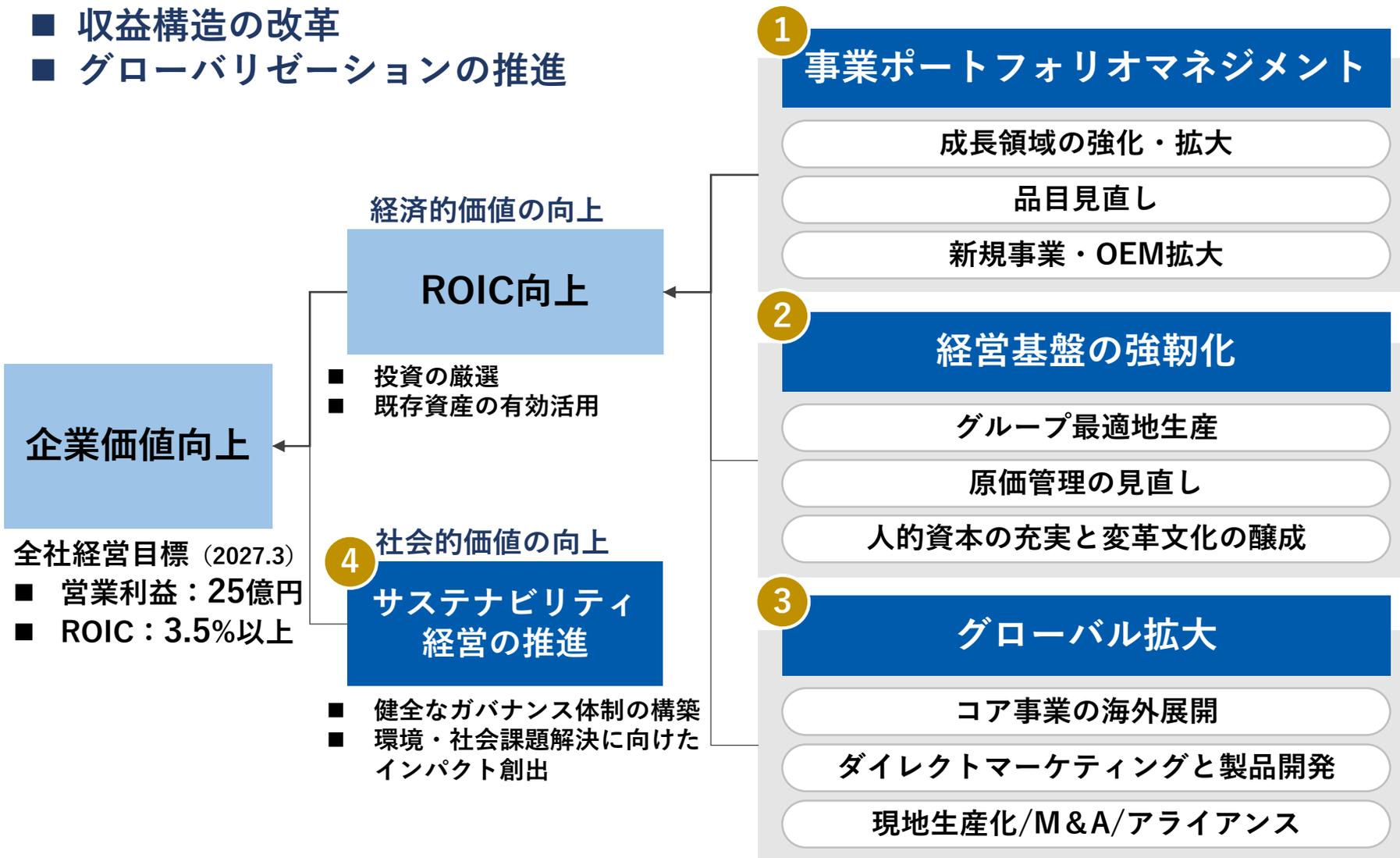
※業績予想にあたっての前提として、為替レートを、  
1米ドル=140円、1ユーロ=155円、1シンガポールドル=106円としております。

**売上：** 国内はがん治療や摂食嚥下関連用品の成長領域を中心に堅調に推移すると予想、海外は米国における相互関税や顧客の在庫調整に伴う影響に加え、足元での為替の円高進行を考慮し、減収を見込む

**利益：** 海外の減収影響はあるものの、成長領域の販売拡大や価格転嫁及び更なる原価低減の推進により、前期並みの利益水準を見込む

### 基本方針

- 収益構造の改革
- グローバリゼーションの推進



在宅透析療法の普及促進に向けた基盤構築と成長領域での着実な売上拡大を実現  
日本国内は価格転嫁の進展も加わり、大幅な利益改善を達成

## 【新規領域】：在宅治療

## 【成長領域】：がん治療

2024年10月

### JMS帝人ホームメディカルケア(株)設立

- ▶ 新規領域と位置付ける在宅治療において、患者さんが望む在宅での透析療法を実現するため、主に腹膜透析関連事業を展開する合併会社「JMS帝人ホームメディカルケア株式会社」を設立し、2025年4月より運営を開始しました。

### 注力しているがん治療分野では、新規顧客の獲得が堅調に推移

- ▶ 閉鎖式薬剤移注システム「ネオシールド」は、シンプルで使いやすいデザインが市場で評価され、堅調に市場シェアを伸ばしています。
- ▶ 宇宙航空研究開発機構（JAXA）の研究に「ネオシールド」の技術が採用され、今後は新たな市場展開も期待されます。



抗がん薬を安全に取り扱うデバイス  
ネオシールド

# 中期経営計画2027 - 2年目の取り組み -

重点施策の実行スピードを上げ、市場環境の変化に柔軟に対応しながら、経営目標の達成と次なる成長ステージへの飛躍を目指します

長期ビジョンの実現

常に医療現場の課題解決を目指し  
製品・サービスを開発する  
ソリューションカンパニー

企業価値

現在地点

## 目標達成に向けた改革加速

### 新規・成長施策の加速

在宅医療事業の拡大 | がん領域での成長

### 経営基盤の強靱化

デジタル化の推進 | 生産拠点構想の策定

### グローバル事業の収益拡大

コア事業の海外展開・販路拡大への注力

2024年3月期

営業利益  $\Delta$ 2.7億円

ROIC -

2027年3月期 目標

営業利益 **25億円**

ROIC **3.5%以上**

## 4つの重要な取り組みと施策

Year 1

Year 2

Year 3

2024.3

2025.3

“変革と挑戦”

2026.3

2027.3

2025年2月

## 多用途透析装置「JMS個人用透析装置 SD-X01」販売開始

医療現場のニーズに応える多用途透析装置「JMS個人用透析装置 SD-X01」を発売しました。15型タッチパネルによる直感的な操作や、多様なHDF療法への対応、自動セットアップ機能により、血液透析の効率化と安全性向上を実現します。



2025年3月

## 「健康経営優良法人 2025」に認定

経済産業省と日本健康会議による「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に3年連続で認定されました。男性の育児休業取得率向上や、エンゲージメントサーベイ導入など、多様な働き方と職場環境改善の取り組みが評価されました。





人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。